



野島水路の渡り鳥（シギ・チドリ）

野島周辺には 100 羽以上の渡り鳥が春（4 月下旬～5 月下旬）と秋（7 月下旬～10 月上旬）に飛来してきます！

毎年見られる渡り鳥



メダイチドリ



キアシシギ



ハマシギ



キョウジョシギ

数年に一度見られる渡り鳥



チュウシャクシギ



コチドリ



メリケンキアシシギ



ソリハシシギ

渡り鳥との共存を目指してできること

野島周辺の残された自然環境を渡り鳥たちは、なんとか利用しています。

この環境を守るためにできることは、大きく3つあります

- ・ゴミを持ち帰る（海辺にはマイクロプラスチック等の多くのゴミが集まります）。
- ・カキの殻や貝殻を砂浜に大量に捨てない。砂浜の環境が変わってしまいます。
- ・渡り鳥に近づきすぎない（鳥が安心して食事ができる人との距離は 100m です）。

【参考書籍】：野島公園と野島水路の鳥類 10 年間の記録

渡り鳥はどこで見られるのか



■自然海岸ではなく、水路（赤粋）を利用
渡り鳥は食事と休憩のために海辺にきます。
野島公園の自然海岸は潮干狩りの利用が多いため、
鳥たちは、人が少ない野島水路（赤粋）で見ることが
できます。



【砂浜にできた塊】
貝殻やカキ殻が固まると、その
下では、鳥のエサになる砂場の
カニなどが生活できなくなります。
（写真：左）